

第3回 塩竈市立病院改革プラン評価委員会

日 時 平成22年11月24日(水) 19:00～
場 所 塩竈市立病院 3階 会議室

次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 審 議
 - (1) 改革プラン平成22年度上半期の取り組み状況について
 - (2) その他
4. その他
5. 閉 会

塩竈市立病院改革プラン評価委員会 委員名簿

(順不同 敬称略)

【委員】

	委員名	職名等	備考
1	本郷 道夫	東北大学医学部教授	委員長
2	横山 義正	宮城県塩釜医師会会長	副委員長
3	鳥越 紘二	宮城県塩釜医師会副会長	
4	伊藤 哲也	宮城県保健福祉部医療整備課長	
5	鹿野 和男	宮城県塩釜保健所所長	
6	高橋 俊宏	(財)宮城県成人病予防協会顧問 元みやぎ県南中核病院事務部長	
7	須藤三枝子	市民代表 (看護師)	
8	内形 繁夫	塩竈市副市長	
9	伊藤 喜和	塩竈市立病院事業管理者兼院長	

【事務局】

	氏名	職名
1	菅原 靖彦	塩竈市立病院 事務部長
2	川村 淳	業務課長
3	宇和野浩志	業務課総務係長
4	横江 嘉夫	医事課長
5	鈴木 康則	経営改革室長
6	山本 哲也	経営改革室係長 (兼業務課経理係長)
7	花渕 英二	経営改革室主査 (兼業務課経理係主査)

1. 塩竈市立病院改革プラン進行状況

概ね順調に進行の状況を事務局より説明

2. 自治体病院を巡る話題

この3ヶ月の間に自治体病院を巡るニュースは多くはなかった。

病院事業への繰入金

医師不足のために患者数が減少し、赤字拡大、そのため繰入金増額、の対応をとっている病院が少なくない。

三重県伊賀市 上野総合病院

宮城県 刈田総合病院、登米市立病院（独法化も視野に）

山梨県 群馬県

秋田県では厚生連(JA)に補助金 47 億拠出

医師不足の影響

医師不足のために、診療患者数が減少し、収益悪化、病床利用率低下

岡山県笠岡市民病院、医業収支比率をクリアしたものの、病床利用率、入院・外来患者数などで目標に届かず、赤字。

一方、北海道では、医師不足のためコスト減少、その結果赤字縮小という例もある。

医師増員になった病院では黒字化（山梨県）

富山県上町立かいみち病院、深刻な赤字。

女川町立、介護と一体化、公設民営化、病床削減。

福井県、敦賀市立病院。

徳島県海部病院は産婦人科医着任で分娩再会。

再編統合の問題

舞鶴市、市民病院、日赤、国立の3病院の統合計画があるものの、話し合いが頓挫。

広島県府中市、JA 病院と市立病院の統合が、反対の住民運動で難航。それぞれの病院は、市町村合併前のそれぞれの地域の基幹病院だった。

大阪阪南市立病院、民営化の手続きでも難航。

診療中止

秋田県、湖東病院、医師不足のため入院診療を中止し、看護師を他病院へ。

つくば市立病院、休院。

コンサル頼み

石川県穴水病院、医師不足による急激な経営悪化のため。医療圏内の各病院の共倒れ防止や経営効率化を狙い、中核的な基幹病院に医師などを集中させる「再編・ネットワーク化」に参加する病院数は328(35%)。参加検討中も含めると822(89%)となり、基幹病院以外の廃止や、診療所化による規模縮小などが進むとみられる。

健全化団体

十和田中央病院、野辺地病院

病院ボランティア

南相馬病院、ささやま病院（兵庫）などで、病院ボランティアが活動

コンビニ受診抑制のための住民医療条例制定

網走（北海道）、須賀川（福島）、伊賀（三重）、西脇（兵庫）、尾道（広島）、美祢（山口）、岩国（山口）、観音時（香川）、小林（宮崎）、延岡（宮崎）、など

今後の展望

公立黒川、公設民営で職員の効果的配置が可能となり、収益安定。

3. 地域医療再生計画の状況

地域医療再生計画

多くの都道府県で、

- * 大学を中心とした医師派遣機能の構築
- * 医学生奨学金（看護学生を対象とするものもある）
- * 寄附講座の設置
- * 患者情報の電子化
- * 遠隔医療機構の構築
- * ドクターヘリを含む救急医療体系構築
- * 小児周産期医療体系の構築、などを計画。

そこに、厚生労働省が地域医療支援センターを各都道府県に設置するため、17億円の予算を申請。宮城県では、地域医療再生計画の医師育成機構との整合性を保ちながらの計画を策定中。おそらく、全国で同様のことがおこる。

ただし、補助金事業が年限を過ぎた時、どうなるのが心配。

ドクターヘリも全国的に注目。

宮城県では導入計画はないが、全国37都道府県で導入計画。

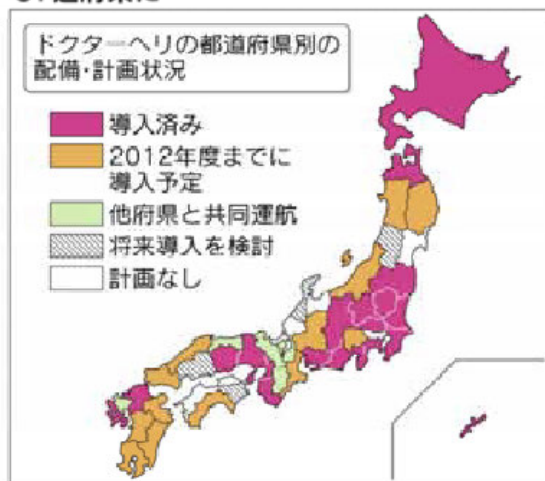
ヘリのコスト

価格 4.5 から 6.5 億円

ヘリポート 1億

運営費用 年間 2.5 億、国庫補助 年間 1.5 億

ドクターヘリは2012年度には事実上37道府県に



4. 医師育成対策

地域枠拡充

県単位だけでなく、市町村単位でも

高校生リクルート

都道府県、大学の主導だけでなく、地域の基幹病院が行っているものも少なくない。

地域医療関連の寄付講座

都道府県だけでなく、市町村単位の寄付講座も設置。

塩竈市立病院改革プラン

平成22年度上半期の取り組み状況について

平成22年 11月 24日

目 次

1 数値目標の達成状況

- (1) 医業収益目標の達成状況 1
- (2) 患者数・診療単価目標の達成状況 2
- (3) 医療機能に係る数値目標の達成状況 4
- (4) 財務に係る数値目標の達成状況 4

2 取り組み状況の概要

- (1) 経営の効率化 5
- (2) 再編・ネットワーク化 6
- (3) 経営形態の見直し 7
- (4) 公開セミナーの開催状況 7

3 平成22年度の収支状況など

- (1) 上半期の現金収支推移 8
- (2) 医師数の推移 9

1 数値目標の達成状況

(1) 医業収益目標の達成状況

【入院】…年間収益目標額 15億7300万円

(単位：千円)

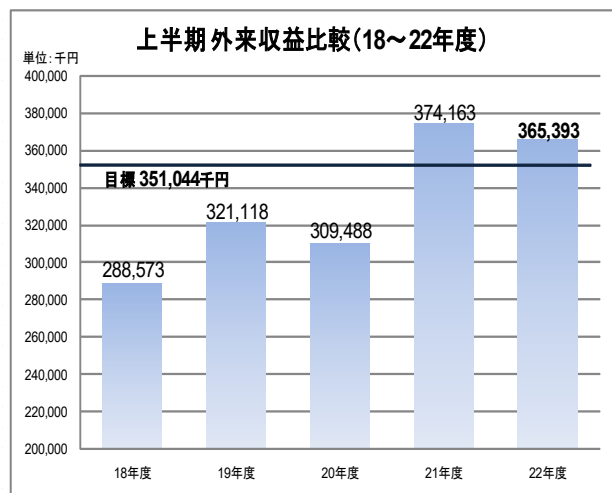
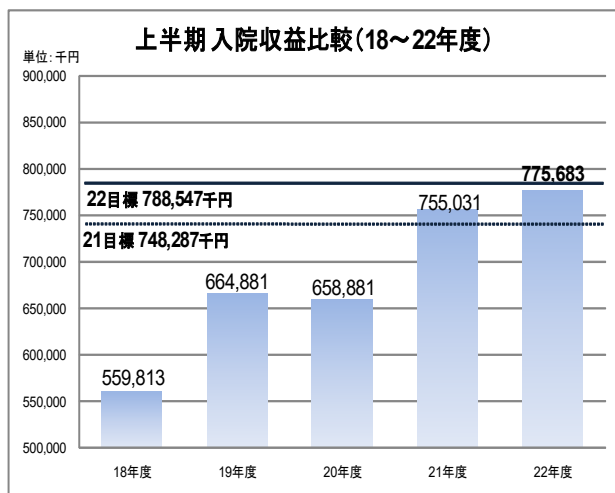
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	91,414	106,955	108,691	84,671	86,697	81,385	90,988	98,352	106,503	100,188	96,601	98,273	1,150,718
19年度	101,846	119,204	109,459	104,859	116,880	112,633	116,547	109,651	107,780	108,197	112,785	108,714	1,328,555
20年度	97,624	101,352	107,048	116,602	122,339	113,916	124,099	121,043	125,382	127,394	122,367	129,640	1,408,806
21年度	131,994	129,703	127,243	117,922	121,535	126,634	127,741	127,243	133,584	134,652	132,583	143,366	1,554,206
22年度 目標	129,270	133,579	129,270	133,579	133,579	129,270							788,547
22年度 実績	123,508	122,058	138,984	143,348	125,926	121,859							775,683
目標差	△ 5,762	△ 11,521	9,714	9,769	△ 7,653	△ 7,411							△ 12,864
達成率 (%)	95.5	91.4	107.5	107.3	94.3	94.3							98.4
前年差	△ 8,486	△ 7,645	11,741	25,426	4,391	△ 4,775							20,652

【外来】…年間収益目標額 6億8500万円

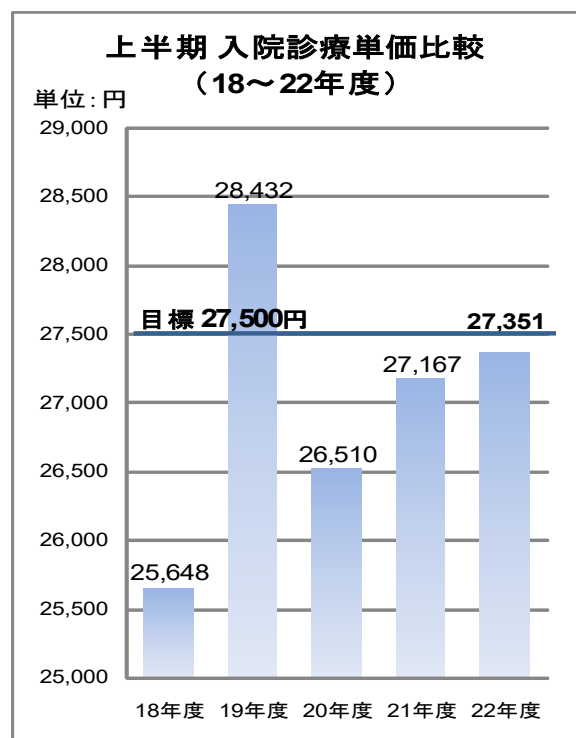
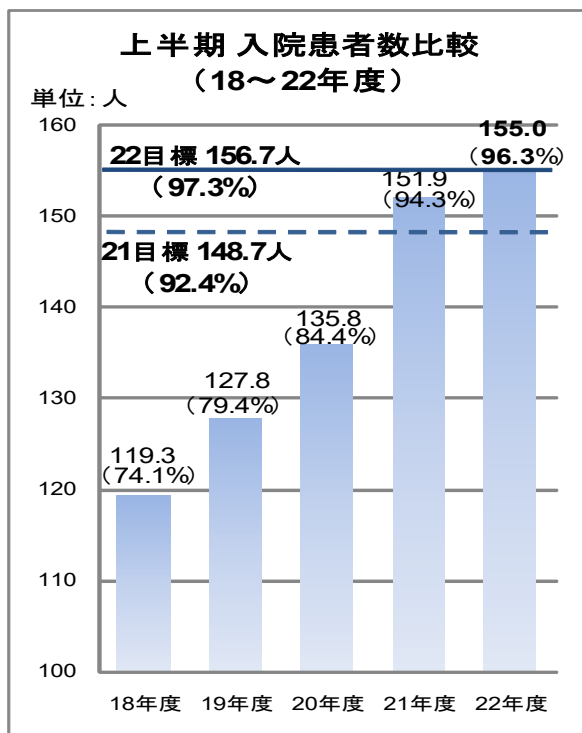
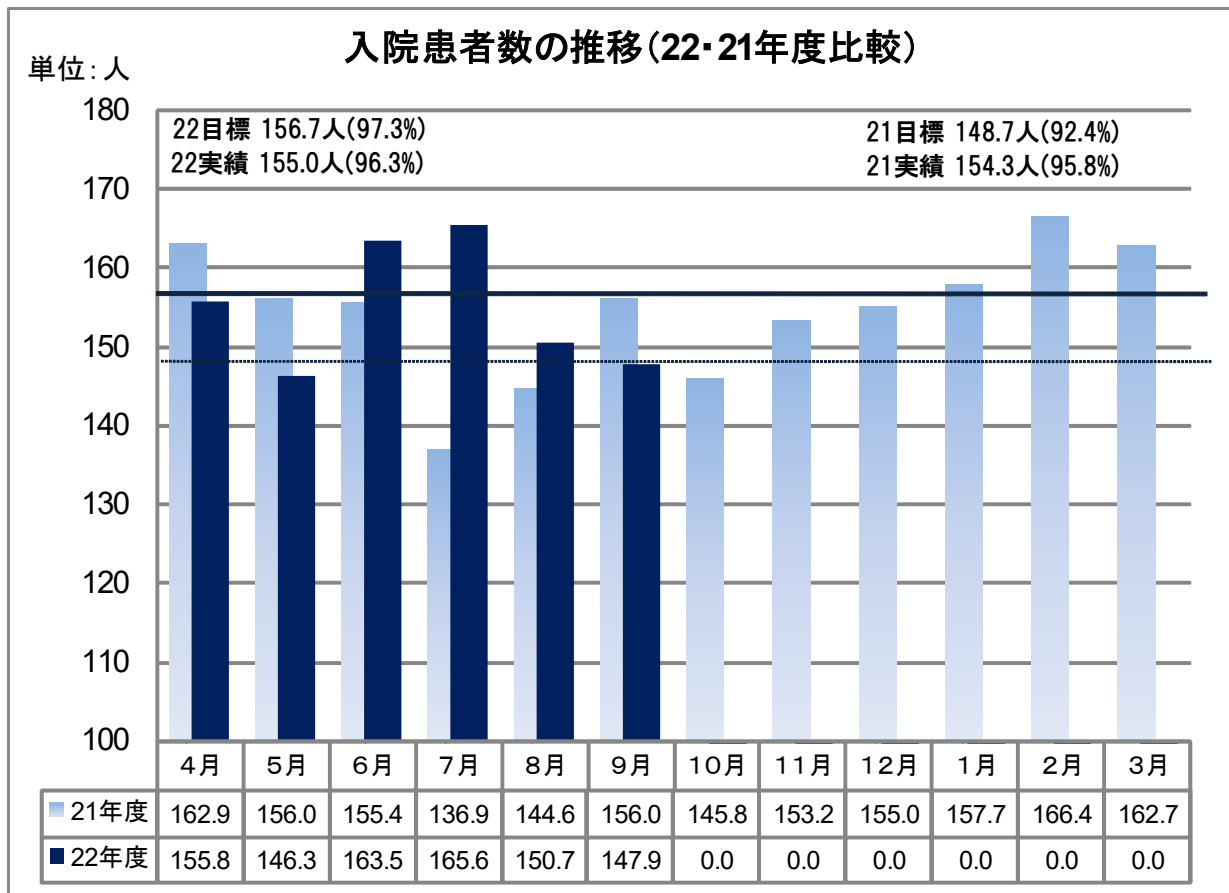
(単位：千円)

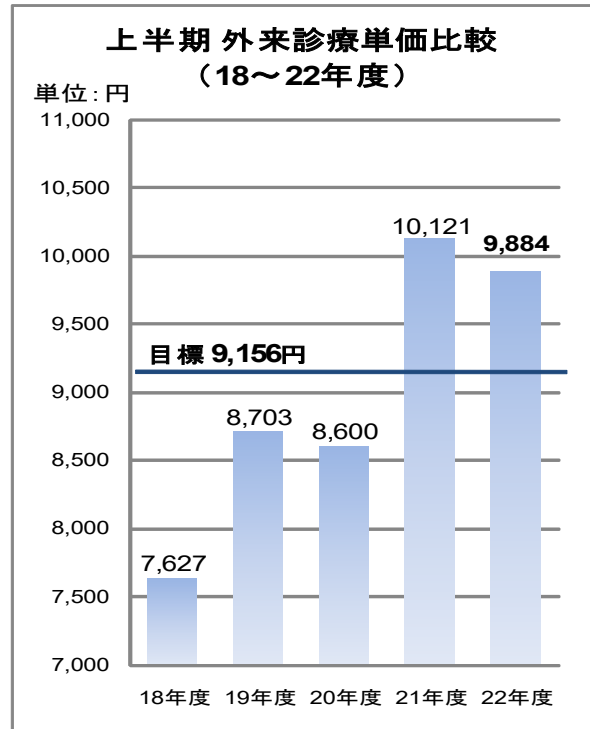
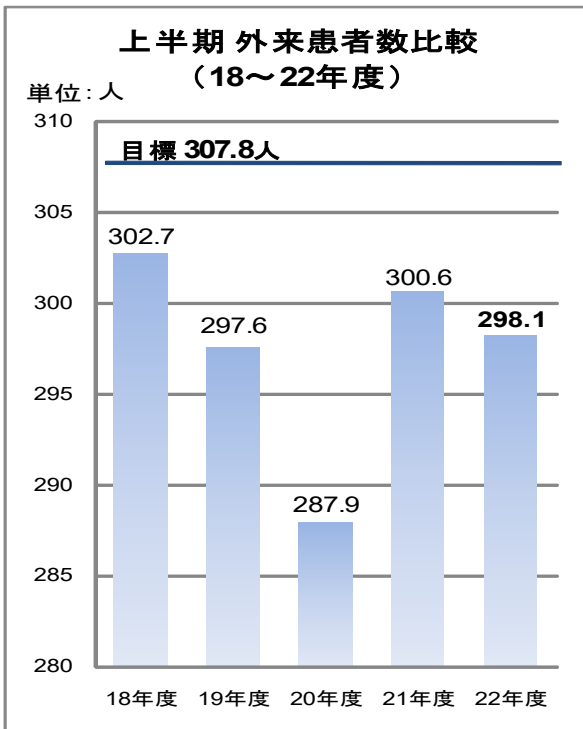
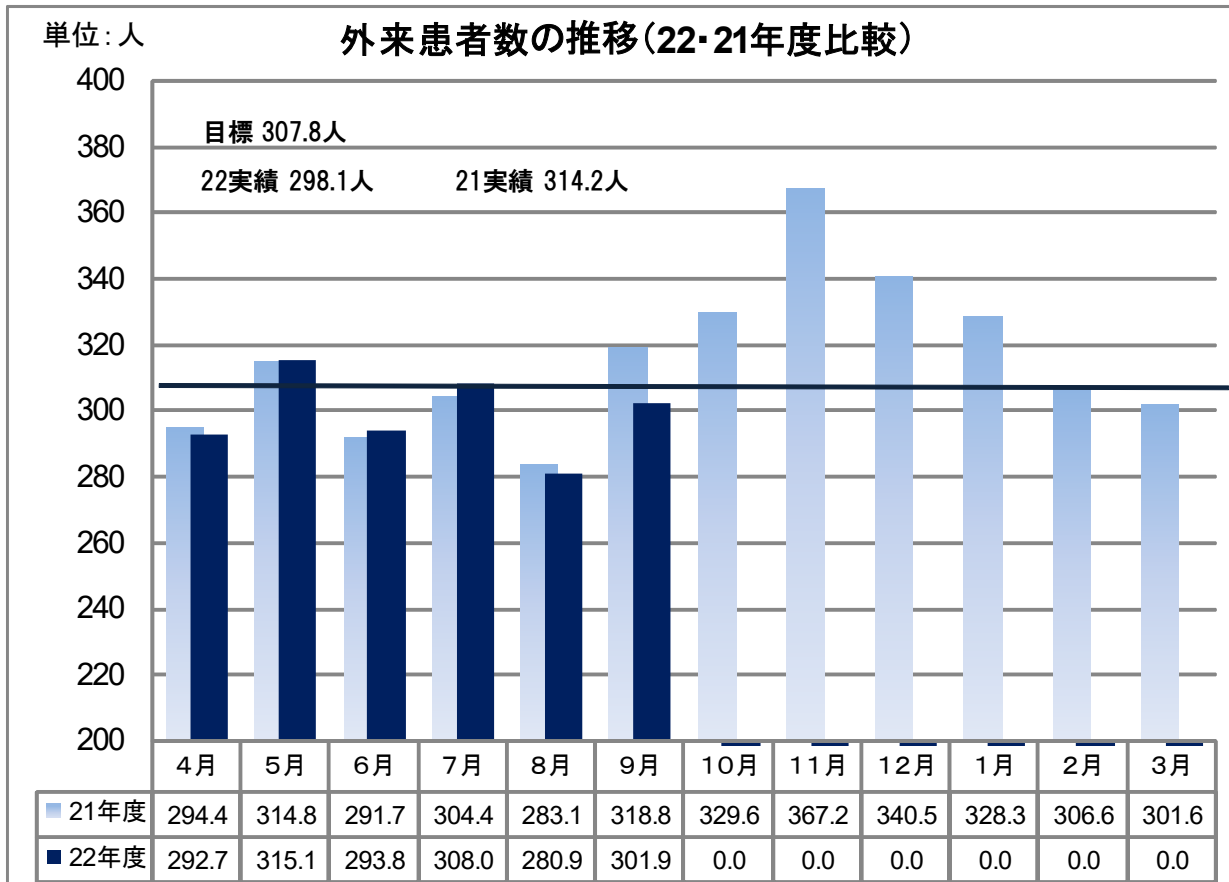
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	46,356	48,778	48,026	50,038	48,439	46,936	47,067	47,501	48,310	48,988	45,774	52,589	578,802
19年度	50,455	54,568	53,362	55,572	55,223	51,938	62,447	56,703	55,559	53,118	51,452	52,705	653,102
20年度	52,329	50,208	49,801	54,206	50,235	52,709	57,673	50,724	58,865	58,255	56,613	61,745	653,363
21年度	62,392	57,351	63,935	66,264	60,303	63,918	65,634	65,088	63,330	58,003	55,212	64,859	746,294
22年度 目標	59,451	50,958	62,282	59,451	62,282	56,620							351,044
22年度 実績	60,514	58,282	63,718	63,174	60,056	59,649							365,393
目標差	1,063	7,324	1,436	3,723	△ 2,226	3,029							14,349
達成率 (%)	101.8	114.4	102.3	106.3	96.4	105.3							104.1
前年差	△ 1,878	931	△ 217	△ 3,090	△ 247	△ 4,269							△ 8,770

(診療日数／18・19年度…245日、20年度…243日、21年度…242日、22年度…243日)



(2) 患者数・診療単価目標の達成状況





(3) 医療機能に係る数値目標の達成状況

項目	19実績	20実績	21目標	21実績	21達成率	22目標	22上半期 目標	22上半期 実績	目標差	達成率(%)
1 救急患者数(件)	577	689	800	883	110.4	900	450	498	48	110.7
2 紹介患者数(件)	1,800	1,954	2,000	2,155	107.8	2,100	1,050	1,127	77	107.3
3 (うちCT・MRI件数)	724	870	800	1,024	128.0	850	425	559	134	131.5
4 手術件数(件)	310	261	330	398	120.6	330	165	170	5	103.0
5 (うち全身麻酔手術件数)	253	197	280	236	84.3	280	140	103	△ 37	73.6
6 内視鏡検査件数(件)	3,063	2,836	3,300	2,638	79.9	3,300	1,650	1,305	△ 345	79.1
7 内視鏡下手術件数(件)	315	202	330	262	79.4	330	165	106	△ 59	64.2
8 CT使用患者数(人)	2,666	2,642	3,000	3,303	110.1	3,350	1,675	1,793	118	107.0
9 MRI使用患者数(人)	1,414	1,649	1,600	1,954	122.1	1,700	850	1,118	268	131.5
10 人間ドック(件)	1,795	1,932	2,000	2,022	101.1	2,100	1,050	1,267	217	120.7
11 脳ドック(件)	90	80	100	84	84.0	100	50	52	2	104.0
12 健康診断(件)	3,520	3,675	3,700	4,847	131.0	3,800	1,900	2,494	594	131.3
13 医療福祉相談件数(件)	1,110	1,309	1,250	1,589	127.1	1,250	625	823	198	131.7
14 訪問診療・看護報酬額(万円)	2,739	3,047	3,000	4,400	146.7	3,300	1,650	2,278	628	138.1

(4) 財務に係る数値目標の達成状況

項目	19実績	20実績	21目標	21実績	達成率(%)	22目標	22上半期 実績	目標差	達成率(%)
1 経常収支比率(%)	90.8	94.2	100.2	99.7	99.5				
2 医業収支比率(%)	84.9	84.9	91.6	91.3	99.7				
3 職員給与費対医業収支比率(%)	58.6	58.4	54.7	52.3	104.6				
4 病床利用率(%)	64.8 (80.1)	72.8 (90.0)	92.4	95.8	103.7	97.3	96.3	△ 1.0	99.0
5 不良債務比率(%)	97.4	17.1	12.1	10.6	114.2				
6 1日平均入院患者数(人)	129.4	144.9	148.7	154.3	103.8	156.7	155.0	△ 1.7	98.9
7 1日平均外来患者数(人)	309.8	304.9	307.8	314.2	102.1	307.8	298.1	△ 9.7	96.8
8 入院患者数1人1日あたり診療単価(円)	28,142	26,641	27,500	27,604	100.4	27,500	27,351	△ 149.0	99.5
9 外来患者数1人1日あたり診療単価(円)	8,605	8,818	9,156	9,815	107.2	9,156	9,884	728.0	108.0

2 取り組み状況の概要

(1) 経営の効率化

項目	取り組みテーマ	h21までの取り組み内容	h22上半期の取り組み等	
1	【意識改革】 組織体制 ・組織風土 への取り組み	経営方針・診療方針 の明確化	意識調査や部門ヒアリングを実施し、健全 化に向けた経営・診療方針を明確にし た。また、病院長から現状打破に向け た決意表明を行った。	平成21年度の取り組みを踏まえた「平 成22年度重点施策」の提示
2	【収入増加策】 積極的な救急患者 受入れ	救急患者受入れ方針 の確立	入院を必要とする二次救急患者を積極 的に受入れる方針を明確にした。	救急患者数…498件（上半期目標450 件、達成率110.7%）
		救急隊との情報共有 ・技術向上	病院長が定期的に消防隊に出向き、受 け入れ方針を説明した。また、救急隊 との症例検討会を実施した。	救急事務担当と病院事務の打ち合わせ 実施…月一回
3	【収入増加策】 地域医療連携強化 による紹介患者の 受入れ	医療連携室 の機能強化	医療連携室の役割・機能を明確にし、 委員会の設置や組織体制の強化を図 った。	登録医制度の検討
		他施設との 信頼関係構築	連携医訪問を行うとともに、連携医に 対して満足度調査アンケートを実施した。	開業医訪問件数…402件
		看護師・コメディカルなど による連携活動推進		
4	【収入増加策】 院内連携強化 の推進	在宅患者の入院 受入れ体制の整備	医療福祉部により、在宅から入院、入 院から在宅への調整体制を確立した。	在宅患者のニーズを反映し、ショート ステイ受け入れ増加（10人→13人）
5	【収入増加策】 医療の標準化推進 による質の向上	医療の質向上と チーム医療の推進	クリニカルパスの作成・運用領域の拡大によ り、医療の質向上を図った。	①救急時対応の症例別パスの作成…7 月23日から運用開始 ②外来パスの見 直し…10月1日から運用開始
		地域連携パス構築		
6	【収入増加策】 総合診療科の設置	総合診療科的機能 の整備	救急患者や新規患者対応のみならず、 再診患者への医療充実を図るため、総 合診療室を設置した。	運用ルールの見直し
7	【収入増加策】 高度医療機器 の稼働向上	院内への情報提供	外来パスの作成や医局への情報提供を 積極的に推進し、医療機器稼働の向上 を図った。	医局への情報提供の徹底
		検査紹介症例の増加	地域医療連携の推進により紹介数が増 加。	CT・MRI紹介件数…559件（上半期目標 425件、達成率131.5%）
8	【費用削減策】 薬品管理システム の導入	後発品の導入推進	療養病棟を中心に後発品を積極的に導 入し、薬品費の削減を図った。	後発品利用率…療養病棟ほぼ100%、 全体で約18%
		在庫管理手法の見直し	預託在庫の考え方による薬品管理システ ムの導入により、無駄な在庫の排除・期 限切れによるロス解消を図った。	薬品ロスの減少

項目	取り組みテーマ	h21までの取り組み内容	h22上半期の取り組み等
【費用削減策】 9 人件費の圧縮・適正化	給与の独自削減	市役所職員全員の給与の独自削減を実施した。(20年度12月期)	
	新たな人事制度・給与体系構築	職務職階制度に基づく適正な給与体系を構築し、人件費の適正化を図った。	人事評価制度の検討
【その他】 10 市立病院への路線バス乗り入れ	市立病院への路線バス乗り入れ	市立病院玄関前まで乗り入れる新たな路線バスの本格運行を開始した。	
【その他】 11 市職員の市立病院利用の促進	市職員による市立病院利用の促進	職場検診の市立病院利用を開始し、さらに人間ドック利用者の徹底を図った。	市職員人間ドック利用率(h21年62%→h22年69%)
【その他】 12 市内企業への市立病院利用周知	市内各企業に対する利用周知	事業主検診や人間ドックの利用促進の周知活動を病院レベルと個人レベルで実施した。	上半期の企業ドック利用人数(h21年19社・964人→h22年22社・1044人)
【その他】 13 高齢者医療に係る行政との連携	高齢者医療に係る行政との連携	市健康福祉部との協議を開始した。	事務担当打ち合わせ実施…週一回

(2) 再編・ネットワーク化

項目	取り組みテーマ	h21までの取り組み内容	h22上半期の取り組み等
病床数のダウンサイジング (199床→161床)	一般病床数の削減	平成21年4月1日から一般病床161床から123床へ削減した。(38床の削減)	前年度上半期を上回る入院患者数の確保(h21年151.9人→h22年155.0人)
	療養病床数の維持	市の政策医療として療養病床(38床)を維持している。	転床ルールの徹底、看護部主体のベッドコントロールの導入
2 診療機能の明確化	診療機能の明確化	消化器系内科・外科を中心とする急性期病院としての取り組みを行っている。	内科と外科のカンファレンスを定期的に開催
	市民や救急隊などへの情報提供	公開セミナーを開催し市民への情報提供を行った。	公開セミナー2回開催(6月、8月)
3 連携体制の構築	病院職員への認知活動の推進	連携室からの情報発信を行った。	院内広報誌の発行準備中
	院内での医療連携活動の推進	体制整備とともに院内の運営ルールやマニュアル整備を行った。	栄養サポートチームの発足(6月)
	院外での医療連携活動の推進	連携医訪問を行うとともに、連携医に対して満足度調査アンケートを実施した。	院外広報誌(いんふおめーしょん)2回発行

(3) 経営形態の見直し

項目	取り組みテーマ	h 2 1 までの取り組み内容	h 2 2 上半期の取り組み等
地方公営企業法 1 全部適用への移行 に向けた制度整備	条例の一部改正 および新設	平成21年12月定例会及び22年2月定例会へ市条例の改正や新設の手続きを進め、平成22年4月から全適に移行した。	事業管理者による職員採用…(4月1日付)医師1名、看護師2名、准看護師3名、コメディカル6名 (7月1日付)看護師1名
	給与体系の見直し	全適移行に併せ、病院事業の経営状況などを考慮した給与体系づくり(職員ボーナスのうち勤勉手当0.6月分の3月支給化)を行った。	6月勤勉手当0.3月減にて支給
	事業管理者の選任	病院事業の経営責任者である事業管理者を平成22年4月1日付で選任した。	事業管理者と職員組合との定例的な打ち合わせ実施…月一回

(4) 公開セミナーの開催状況

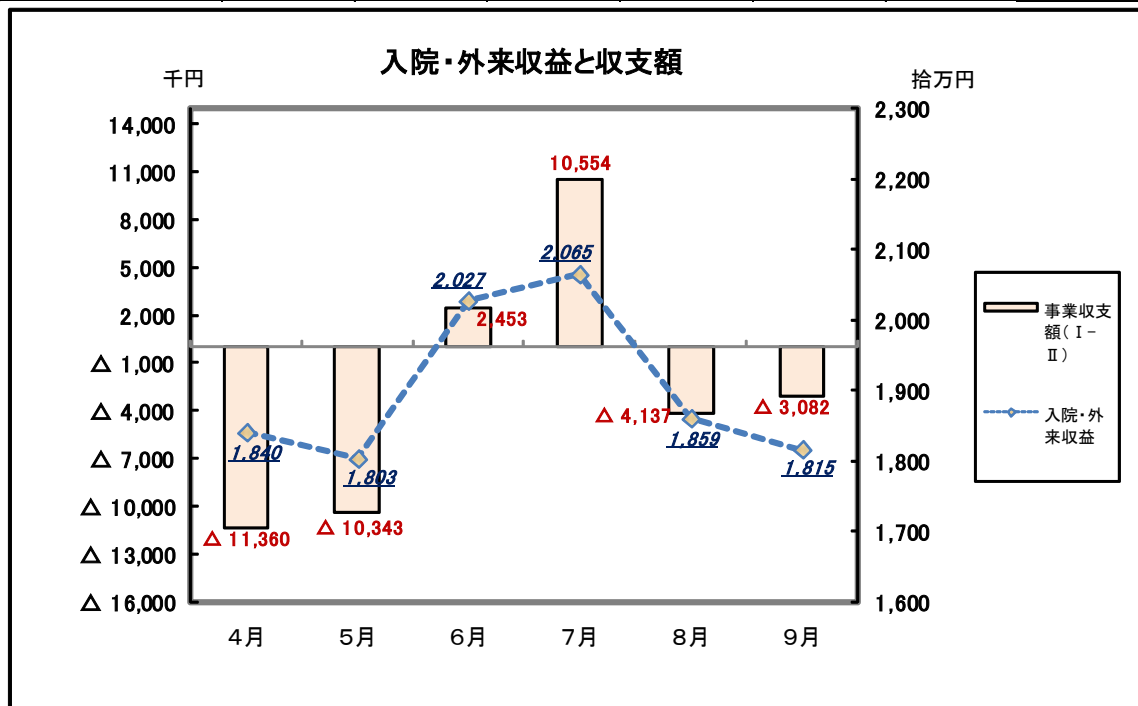
	開催日時	担当科	テーマ	説明者
第7回	6月5日(土) 13時30分～	内科	内視鏡からみたおなかの話	吉田副院長
第8回	8月28日(土) 13時30分～	外科	乳がんについて	横山診療部長
		改革プランの21年度の取り組み状況報告		
第9回	10月9日(土) 13時30分～	内科	高血圧について	後藤医長
第10回 (予定)	12月11日(土) 13時30分～	外科	栄養サポートチームの取り組みについて	佐々木医長

3 平成22年度の収支状況など

(1) 上半期の現金収支推移

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
病院事業収益(Ⅰ)	221,653	217,971	240,333	244,153	223,613	219,139	1,366,862
うち	入院収益	123,508	122,058	138,984	143,348	125,926	775,683
	外来収益	60,514	58,282	63,718	63,174	60,056	365,393
	計	184,022	180,340	202,702	206,522	185,982	1,141,076
病院事業費用(Ⅱ)	233,013	228,314	237,880	233,599	227,750	222,221	1,382,777
事業収支額(Ⅰ-Ⅱ)	△ 11,360	△ 10,343	2,453	10,554	△ 4,137	△ 3,082	△ 15,915
21事業収支額	4,719	4,126	5,702	△ 2,178	185	4,778	17,332
昨年度収支差額	△ 16,079	△ 14,469	△ 3,249	12,732	△ 4,322	△ 7,860	△ 33,247



※昨年度の上半期と比較すると、入院・外来収益は約1,200万円増えていますが、支出面では約4,500万円(起債償還開始・共済費負担金など)増えており、収支状況ではマイナスとなっています。

※支出増加分約3,300万円が、昨年と今年の収支差となっています。

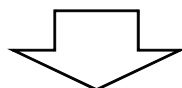
昨年度比較△3,300万円 = 収益増1,200万円－支出増4,500万円

(2) 医師数の推移

【平成21年度】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科	11	11	11	11	11	11
外科	4	4	4	4	4	4
小児科	1	1	1	1	1	1
麻酔科	1	1	1	1	1	1
整形外科	1	1	1	1	1	1
計	18	18	18	18	18	18



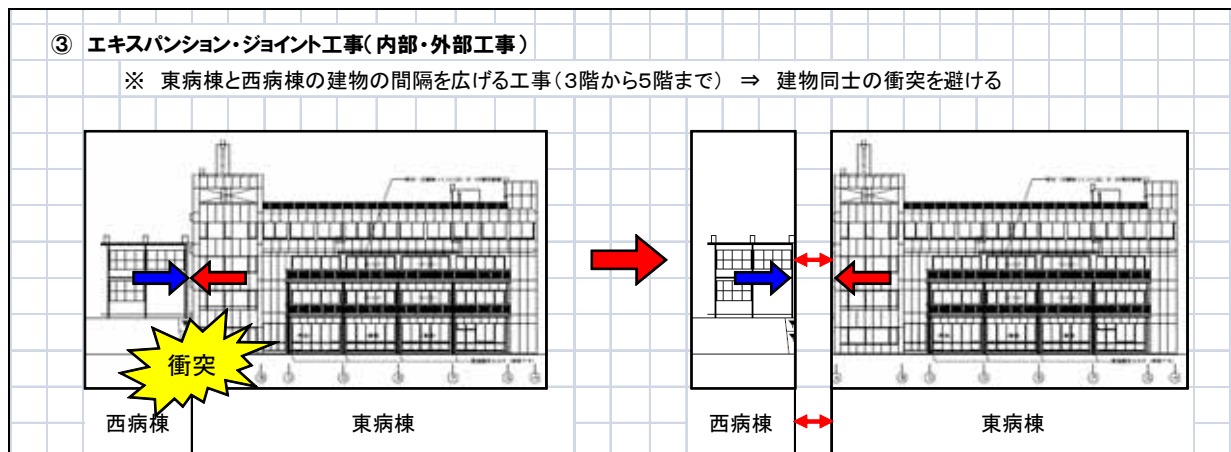
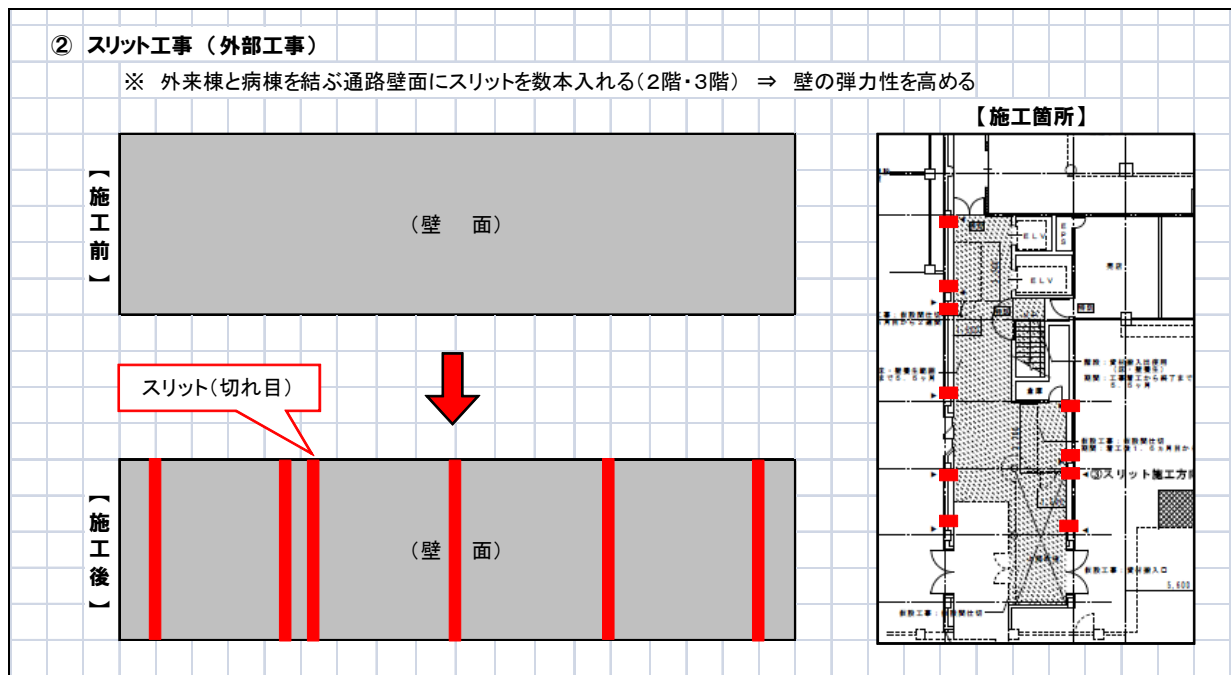
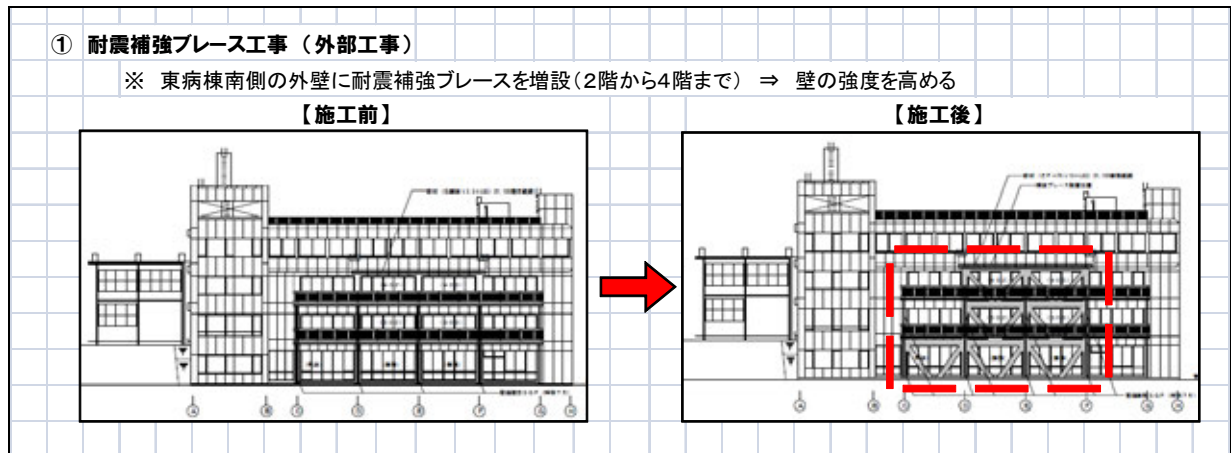
【平成22年度】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
内科	10	10	10	10	9	9
外科	4	4	4	4	4	4
小児科	1	1	1	1	1	1
麻酔科	1	1	0	0	0	0
整形外科	1	1	1	1	1	1
計	17	17	16	16	15	15

市立病院の東病棟耐震補強工事について

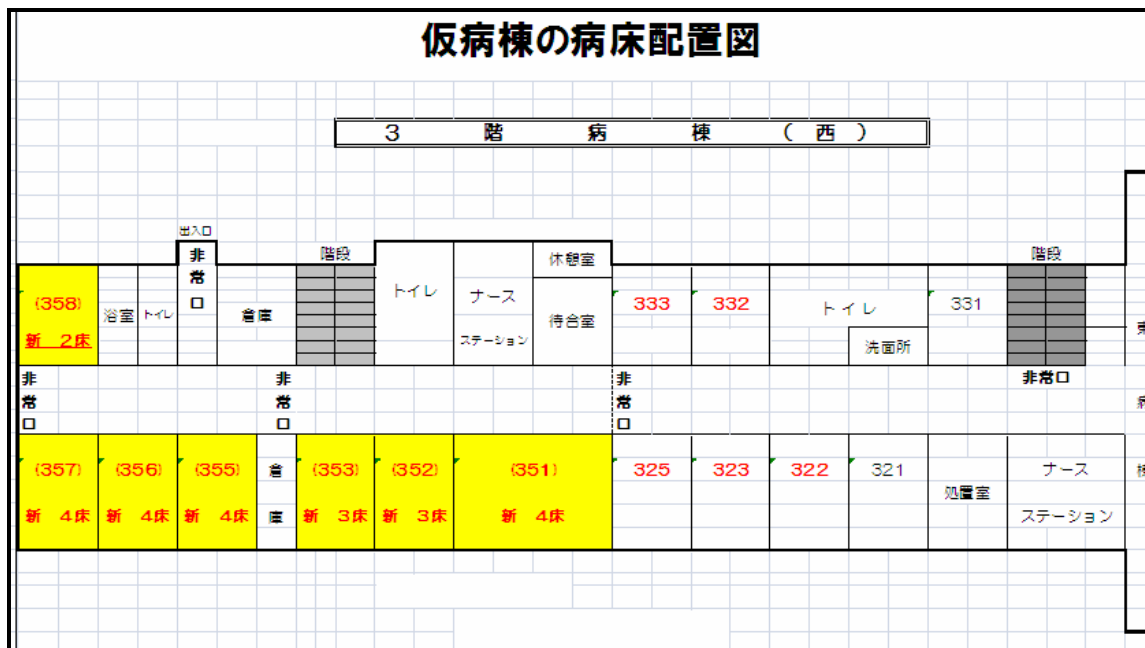
1. 耐震補強工事の概要



2. 工事期間中の病棟運営状況

1) 仮病棟の供用

【7室24床（2床室×1、3床室×2、4床室×4）】



2) 工事期間中の病棟(看護)体制

- ① 病棟編成：3病棟体制から2病棟体制へ変更
- ② 看護体制：夜勤2人体制から3人体制にシフト変更

3) 工事期間中の東病棟の休床対応

